(様式第3号)

企業・団体名(株式会社 エナキス)

SDGs達成に向けた具体的な取組(要件2) 【R5.9.5変更】

カテ							主な	SDGs	(17ゴ	ールと	169タ	<u>ー</u> ケ	デット)関連	項目	
テデ	非該	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、	1	2 3	4	5	6 7	8				1	15 16 17
リリ	当		レベル	併せて記載してください。)	1 ### #(45)	2 新版を 3 開発を理由 ((()	4 monome	5 ジェンダー平等を 実現しよう	7 **** 7 *****************************	8 #8#U-6 ->K	日本では一番を含める。 「本意をつくろう」	へ	11 世報	14 #0###################################	15 TORROS 16 TOTOLE 17 (1-15-2-7)
		【差別の禁止】 - 性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本	【予定】当社のコンプライアンス危険予知 シートを作成 し、読み合わせをして教育し ていく。				5.1 5.2 5.5		8.5 8.7 8.8		0.2			16.1 16.2 16.7
		【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相 談体制を整備している	基本	・相談窓口の設置をしている。				5.1 5.2 5.5		8.5 8.8					16.1
		【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる		・労働基準法等の改正内容を経営者を含め共 有している。業務改善(スマホ導入、勤怠シ ステム導入など)を行っている。						8.5 8.8					
		【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本	・外国人労働者は採用しておりませんが、取 引先などの対応で差別が起こらないようにし ている。			4.4			8.7 8.8		0.2			
 		【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本	労働安全委員会を設置し定例会議開催している。安全大会を毎年開催し、事業者と情報交換している。		3				8					
労働		【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本	【予定】希望者に対して年1回のメンタル チェック実施。		3									
		【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環 境の整備に取り組んでいる	基本	・定年の延長により高齢者が働きやすい環境 としている。(60歳→65歳)				5.1 5.5		8.5		0.2			
		【人材育成】 - 適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本	・職務や役割に応じた研修体系を整備し実施 している。(長野経済研究所の研修、三条大 学校の研修など)			4	5.5		8	9				
		【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している		・パートタイム労働法、労働契約法等の改正 内容を理解し、同一労働同一賃金等の原則に 沿った適切な処理をしている。				5.5		8.5		0.2			
		【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ	・社員の就業管理を行い、労働時間短縮に取り組んでいる。		3				8					
		【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本	・廃棄物の契約書を取り交わし、マニュフェ ストに沿って適切な処理をしている。									11.6 12.4	14.1	
環		【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本	・毎月数値を取って定例会議にて発表、省エ ネに取り組んでいる。					7.	3			13		
環境		【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本	・塩田事業所建屋に太陽光発電を設置し、省 エネ・排出も抑制に取り組んでいる。					7. 7.				12.4 13.3		

【有害化学物質】 14 ・ 法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使 用に取り組んでいる	基本	・事業として取り扱いはありませんが、 SDS(製品安全データシート)に基づいて適切 な管理・使用を行なっている。	3.9	6.3		11.6 12.4		
--	----	--	-----	-----	--	-----------	--	--

7	,				目 /+ 65 +> Ho 40			主なS	DGs (1	7ゴー	ールと	169ター	ゲット)関連	項目		
5		該	チェック項目	取組	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、	1 2	2 3	4	5 6	7	8	9 10	11 12 13	14	15 16	17
		当 	у — у у д µ	レベル	併せて記載してください。)	1 RNE 2 EE	3 ##E### 	4 南の高い教育を みんなに 	ジェンダー平等を 実現しよう 6 美倉な水とトイレ を世界中に	7 IRRF-ERAGE	8 medius	9 産産と放発産業的	11 世本訳がある 12 つくら男任 13 木東京出て 13 木東京出て 13 木東京出て 12 つかり男任	14 #0###################################	15 #08#86 16 ##CKRE	17 Anto-part
15			【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	・環境にやさしい省エネ機器の普及促進をしている。				6.6						15	
16			【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本	・リサイクルできるようにゴミを分別している。【予定】業務改善を予定しており、ペーパーレスにつとめる。(会計日報のWEB化等)								12.5	14.1		
17			【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ	・節水型設備の導入を推進している。				6.4 6.6							
18 均		-	【環境マネジメントシステム】 ・IS014001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得して いる	チャレンジ			3.9		6	7			12 13.3	14	15	
19	-		【環境情報開示】 - 環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ									12.6			
20	•		【再生可能エネルギーの利用】 - 再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ	・塩田事業所建屋に太陽光発電を設置している。 ・太陽光発電の販売に取り組んでいる。					7.2			13			
21			【天然資源の持続的利用】 - 天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ	・お客様へ高効率機器システムへの提案に努めている。								12.2 13	14	15	
22			【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	【予定】当社のコンプライアンス危険予知 シートを作成し、社内の浸透を図る。										16 16.5	
23			【公正な競争】 - 不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	【予定】当社のコンプライアンス危険予知 シートを作成し、社内の浸透を図る。										16	
24			【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	【予定】当社のコンプライアンス危険予知 シートを作成し、社内の浸透を図る。						8.2 8.3	9				
25 25 事			【個人情報保護】 - 個人情報を適切に管理している	基本	「個人情報に対する基本方針」を定めて公表し体制を整備している。情報セキュリティー規程に基づいて適切な管理をしている。										16	
26 行			【紛争鉱物】 - 紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	・取り扱っていない。										16	
27			【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系 への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防 止)について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ	・関係事業者と毎年、安全大会を開催し、情報交換・交流に努めている。				5		8	10	12 13	14	15 16	17
28			【パートナーシップ構築宣言】(R5.9.5~追加) ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表してい る	基本	【予定】宣言・公表		3				8	9 10				17

	非該当	チェック項目	取組 レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、 併せて記載してください。)	1 2 1 ## 2 ## (***)	3 ************************************	EなSDC 4 5	6 6 88886411	7	- ルと 8 8	169夕 9 10 9 10 (中)	11	12 13		4 15	16 TREASE 17	
29		【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	・お客様へガスの安全知識に関する周知文書 を1年に1回配布している。		3.9							12.4				
製 30 ・サー		【品質保証】 - 品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	・年に1回の保安訓練の実施、月1回の保安教育の実施をしている。 ・定期的にお客様宅へ訪問し保安点検の実施をしている。							9						
31 ス		【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ	環境にやさしい天然ガス・プロパンガスを 効率的に使用できる高効率機器のシステム提 案している。				6					12 13	3 14	1 15		
32		【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ	・災害時に煮炊きや給湯が使用できるプロパンガスのシステムの提案をしている。	1 2	3	4 5	6	7	8	9 10	11	12 13	3 14	1 15	16	17
33		【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	・災害時に煮炊きや給湯が使用できるプロパンガスのシステムの提案をしている。			4				9	11	12	14	1 15		17
34 貢献	` 注 注 注 ·	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	・コロナ禍でSOSを発信しているクラウド ファンディングの購入等に取り組んでいる。			4					11		14	1 15		17
35		【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用(地消地産、地産外商)している	チャレンジ							8	9	11	12 13	3			
36		【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本	・経営理念を明文化している。 ・経営者が理念を持ち、経営理念、経営目標 を社員に説明し、共有している。						8	9						17
37		【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築 している	基本	・社外発信文書を管理部署でチェックしてい る。規程も法に則った見直しをかけた。												16	
38		【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を 整備している	基本	・保安品質向上のための専門部署を設けている。												16	
39 組織		【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※) との対話により、自社の活動がステークホルダーに及 ぼす影響を把握し、適切に対応している(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全 体)	基本	・毎月情報紙を発行し、お客様の声を聞き、 改善に努めている。												16	17
40		【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ													16	
41		【社会的責任】 ・CSR(Corporate Social Responsibility:企業の社会的責任)の考えに基 づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組 んでいる	チャレンジ	・環境にやさしい天然ガス・プロパンガスの 普及促進と定期的にお客様宅の保安点検を遵 守している。												16	
42	-	【事業継続】 - 事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ	・BCP計画を策定し、発電機の設置や事故・ 災害に備えた教育・訓練を実施している。							9	11	13 13.			16	
43		【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ	・毎年、人材採用・教育・育成を行っている。						8	9						17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を 記載いただければ登録が可能です。(今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。)
- 「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上(個人事業主等)、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等(※)を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してくださ い。

(※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NA GANOものづくりエクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型 社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など)

- 〇 この「要件2」は、ISO26000(※1)、RBA(Responsible Business Alliance)(※2)行動規範等を参考に、非財務情報(SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項)について整理し作成
- 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は**黒字**、 間接的(結果として)に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、<u>赤字</u>で番号を記載
- 〇 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載
- ※1…組織の社会的責任に関する国際規格 ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定